

BUDŌ

NEWS

今月のニュース



明治 150 年記念 第 30 回国際武道文化セミナー





明治 150 年記念

第 30 回国際武道文化セミナー

国際色豊かに、35 カ国 112 名が参加

明治 150 年記念第 30 回国際武道文化セミナー（主催 II 日本武道館、日本武道協議会）は、3 月 9 日～11 日の 3 日間、日本武道館研修センター（勝浦市）で開催された。セミナーには 35 カ国から 112 名が参加。講義や体験武道、参加者発表、稽古など武道づくめの 3 日間となった。

■ 1 日目（3 月 9 日）

●開講式 三藤芳生日本武道館常任理事・事務局長が挨拶し、「国際武道文化セミナーへの参加を心より歓迎します。武道は日々の修練を通して、自己をより高めていく人間形成の道です。本セミナーを通して武道への理解を一層深め、実りある 3 日間になることを切望いたします」と参加者を激励。続いて講師とスタッフを紹介された。

●講義① 開講式が終わると引き続き、竹内整一鎌倉女子大学教授の「日本の武道文化の特質と可能性」と題した講義が行われた（要旨別掲）。

●実技研修 講義の後は、日頃稽古している種目の実技研修を行い、斯道一流の講師の指導の下、90 分間たっぷり稽古に汗を流した。

■講義① 竹内整一氏（鎌倉女子大学教授）

「日本の武道文化の特質と可能性」

よく日本人は、「今度結婚することになりました」と表現します。自分で決断したのだから「結婚することにした」というべきところですが。こうした言い方には、本人が決断したことでも、『おのずから』の働きでそうなったという受け止め方があることを示しています。

思想家の二宮尊徳は、「人の生きる道とは、自分みずからの努力と、自然おのずからの働き、この両方の間にある」と説いていま



す。自然は時に不慮不測の猛威を振

るい、我々はそれに耐え、できる

限りの努力、工夫をしながらなお、

自然おのずからの働きに従って生

きています。哲学者の九鬼周造は

日本の思想文化の大切な要素とし

て、「自然、意気、諦念」を挙げて

います。「自然」おのずからの働

きを基本として、それに対応するみず

からの「意気」、それら二つを合わ

せた「諦念」が日本の思想文化を性

格づけているというのです。

「自然」はおのずからの働き、「意

気」は、やむを得ない事情が起きた

ときに一心を賭してやり遂げる

気概で、死を敢然と引き受け

る「意気」には「諦念」を窺

うことができます。「諦念」

は、「明らかに見る」からき

ており、明らかに見てどうに

もならないことを、敢えて引き受

けるといふことです。

以上のように、日本の思想文化の

特質はみずからする努力、自然おの

ずからの働きの間にあると受け止め

られます。そこに日本人の基本的な

考え方、感じ方が見出せます。それ

ゆえ、日本の武道文化も同様だと捉

えられます。九鬼周造は、「日本の

道徳の理想にはおのずからの自然

ということが大きな意味を持つて

いる。自然というところにいかな

れば、道徳が完成したとはみられな

い」と述べています。この文章の「道

徳」はそのまま「武道」に置き換え

られると思います。

日本の武道は、最終的に、おのず

からなる自然とならなければ完成し

たとは見られません。このように日

本の武道文化には、道徳や宗教、芸

術の思想文化などと共通の、みずか

ら努力しながら、ついにはおのずか

らの自然の広み、深みにつな

いくという特質があり、その可能性

も見出せるのです。

◇質疑応答

Q「この講義は『みずから』行うこ
とにしたのか、『おのずから』行う

ことになったのか、どちらですか」

A「あらゆることが自らの意思

と、自分を超えた働きからな

ります。私は、もともと日本思想

を研究して、月刊『武道』で連載

もし、少林寺拳法を稽古してい

ました。その自分の意思と、武道館

の人たちが私にそれに関した話を

するだろうという期待をした、そ

の周りからの働きの間にこの講義

があるわけです」

Q「おのずからの働きとみずから
の働きは時代によって変わるので
しょうか」

A「それは時代によって変わります。時代が古くなればおのずからの働きの強くなります。また、おのずからとみずからの間に人の営みがあるのはどの国でも同じです。人間は、おのずからの働きを超えて、文明・文化を作ってきたが、最終的に文明がおのずからを押さえつけられると思っていたのが間違だったということ、東日本大震災で明らかになりました」

■2日目 (3月10日)

●参加者発表 2日目は8時30分より「武道の魅力」をテーマに参加者4名による発表が行われ、司会は田中守国際武道大学教授が務めた。

モハメッド・志覇武氏、デイビッド・マックフオール氏、ペール・フルード氏、ライオン・マカヴォイ氏の順に、それぞれが考える「武道の魅力」を発表された。

▽モハメッド・志覇武氏(シリア・空手道六段、本部御殿手五段)

「日本に来て30年です。武道は人間関係や上下関係を教えてくれる教育システムです。武道はスポーツでは



デイビッド・マックフオール氏



モハメッド・志覇武氏



ライオン・マカヴォイ氏



ペール・フルード氏



参加者発表の様子

ないので、五輪種目になるのには違和感があります。武道はいろいろ教えてくれる教育法だからです。決して武道をスポーツにしてはいけないと思います。ただ、それでも2020年のオリンピックは日本の武道文化を発信する素晴らしい機会です。ですので、武道修行者がそのためにできることを考えて欲しいです」

▽デイビッド・マックフオール氏(アメリカ・柔道五段)

「日本のことわざで、『虎穴(こけつ)に入らざれば虎子(こじ)を得ず』という言葉があります。西郷四郎という柔道家がいいますが、彼は恐れずに攻撃をし続ける柔道スタイルでした。これは、人

生でも同じことが言えます。それは、リスクを取らないと何も得られない、人生で成功を掴めないということです。私は柔道を通じてそれを学び、リスクを覚悟して柔道の専門誌を創刊しました」

▽ペール・フルード氏(スウェーデン・弓道三段)

「昔、剣道三段の審査を初めて受けたら不合格でした。その理由を先生に確認して、アドバイスをもらいました。ただ、当時通っていた道場は初心者の道場だったので合格するための練習ができませんでした。しかし、それでも自分のことは置いて、初心者にずっと教えていたら合格で

きました。これは、人のことを考えて行動した結果なのだと思います。千回戦って千回勝つ喜びよりも自分の悩みをひとつ克服する方が大きな喜びが得られる。それが武道の魅力です」

▽ライオン・マカヴォイ氏(オーストラリア・合気道四段)

「合気道、テコンドー、空手道、ブルレス、キックボクシングなど様々な武道や格闘技をやってきました。中でも合気道がとても好きなのですが、合気道の本当の良さが分かったのは、そこから離れて別のことをいろいろやったからです。だから、自分のやっているものをより楽しみ、理解するために他のところからインスピレーションを得ることが大切だと思います」

最後に司会の田中守教授が「武道の魅力とは、『道』とは何かということをも自分自身が体験して感じることではないでしょうか」とまとめ、参加者発表を締めくくった。

●講義② 30分の休憩の後、岡崎廣志全日本弓道連盟参与・範士八段が「武道・弓道の魅力」と題した講義を行った(要旨別掲)。

「武道・弓道の魅力」

弓道には他の武道と違う大きな特徴があります。それは、直接闘う相手がいないということです。動的を相手に競技をします。これが曲者です。何故かという的は動かないからです。動くのは自分なのです。

人間が相手であれば、動いたり迷ったり、失敗もします。しかし、的は不動です。的に隙は生まれません。だから、どんなことをしてものには勝てません。こう申し上げると、弓道を学んでいる人は精



神的に強いと誤解されるかもしれませんが、違います。

的は攻めてこないの、逆に自分に甘えて言い訳ができてしまうのです。だから自分で自分を律し、自分に勝たないといけません。人はどうしても自分に甘くなりがちです。それが弓道の恐いところです。

「会」の状態になると様々な煩惱が押し寄せてきます。誰でも「当てたい」「褒められたい」「失敗したくない」と思います。大会で優勝がかかっている時などは特にそうです。だから、ほとんどの人はここが勝負

なのです。練習ではできるけど、大きな試合ではできないという

うことにもなるのです。私がそういう時に自分に言い聞かせるのは、最悪を覚悟するということです。「失敗しても命まではとられないだろう」と考えます。弓を引いている時

に、ここで離せば当たるということが分かる場所があります。しかし、そこで離すと、それはただの当て弓になってしまいます。その時に出てくるいろいろな気持ちを我慢することが重要なのです。だから早く弓を射ることが戒められているのです。

それが、当てればいいスポーツとの違いなのではないかと思えます。弓道は「精神格闘技」と呼ばれていま。現代では、弓は戦争で使えないし、狩りにも使いません。精神を鍛えるための道具なのです。

「弓道は仁の道なり」という言葉があります。「仁の道」は、鍛えた精神や強さで人を圧したり、いじめるのではなく、弱い人に手を差し伸べ

ることをいいます。自分が本当に強ければ弱い人をいじめることはありません。武道に携わる人はこれに一番注意しなければなりません。

国際弓道連盟には「和をもって世界を結ぶ弓の道」というスローガンがあります。弱い立場の人に基準を合わせる必要があります。そうしなければ、強い立場の人の発言が強くなってしまう。

試合で相手をしてくれた方に勝ったからといって相手が下ではありません。自分の力を試す試合で相手に敬意を表す。敬意を表すことを忘れたら、それはもう武道ではなくなると思います。

◇質疑応答

Q 「日本人以外でも、『弓道は仁の道なり』を理解するためのヒントをください」

A 「日本人でも、全員が理解しているわけではありません。経験を積み重ねて『仁の道』を自分で理解するしかないと思います」



講師演武会



空手道



合気道



剣道



熱心に見学する参加者



懇親会の様子



網代忠宏講師(左)の発声で乾杯



高見令英
国際武道大学学長

懇親会

●講師演武会 午後は講師演武会が行われ、弓道、合気道、柔道、相撲、空手道、銃剣道、なぎなた、少林寺拳法、剣道の順に演武が披露された。セミナー参加者はカメラ、ビデオを手に、一流の講師による演武を見学。各道の迫力溢れる演武に時折感嘆の声もあがるなど、熱心に見入っている様子だった。

●体験武道 日頃稽古していない武道を経験する稽古会、体験武道が行われた。参加者は慣れない動きに戸惑いながらも講師の熱のこもった指導に耳を傾けた。参加者は未経験の種目に一生懸命取り組み、明るい雰囲気で行われた。60分の稽古時間があっという間に終わると、1回目とは違う種目を選択して2回目の体験武道が行われた。

●懇親会 この日の夜には懇親会が開催された。高見令英国際武道大学学長、平井正人天然理心流剣術第十代宗家の挨拶に続いて、剣道の網代忠宏講師が乾杯の発声を行い、懇親会がスタート。参加者は共に武道を学ぶ仲間と国を超えて幅広く交流し、武道談義にも大いに花が咲き、賑やかな夜となった。

■ 体験武道



相撲



空手道



なぎなた



弓道



少林寺拳法



銃剣道



合気道



剣道



柔道

■3日目 (3月11日)

●天然理心流剣術講義・演武会及び体験会 8時30分より天然理心流剣術の講義、演武及び体験会が行われた。

まず平井正人天然理心流剣術第十代宗家がプロジェクターを用いて流派の歴史、特徴を説明。続いて参加者は模範演武を見学した後に、流派の代表的な型である表木刀の型を体験。本来であれば、真剣を想定した

重量(1・4〜2kg)のある太い木刀を用いるところ、本数の関係で通常の木刀を使用して稽古を実施した。最後は希望者を募り、本来の太い木刀を使用した形を体験した。

●閉講式 古武道体験のあとは閉講式が行われ、第1回から参加しているランディ・チャネルさん(カナダ)に修了証が授与された。

最後に、吉野喜信日本武道館振興部長が閉会の挨拶をして無事に全日程が終了した。



本来の太い木刀を使った形の体験



指導を行う平井正人宗家



模範演武



全員で記念撮影

参加者の感想

フランシスコエステベスさん(スペイン)



「空手四段です。5回目の参加になります。今回も素晴らしい先生に講義をしてもらい、いろいろ学ぶことができて感謝しています。セミナーで出会った友達と再会したり、世界の武道の現状を先生に聞くことが、このセミナーの楽しみです」

デルフォ・キスベさん(ポリア)



「初参加です。昨年4月に柔道を始めて今は3級です。黒帯を目指しています。セミナーには講道館の先生に話を聞いて申し込みました。セミナーを通じた国際的な交流がとても良かったですね。講義と稽古のバランスも良くとれていました。日本の武道は素晴らしいものだと思います。日本の指導者の先生が外国人の普及に今以上に力を入れてくれれば、その家族や子供にも伝わって広がると思っています」

黒澤シニッカさん(フィンランド)



「20回目の参加です。体験武道がとても良かったです。相撲をやりましたが、生徒同士、素人目線で優しく教えられました。セミナーでは友人たちと集まっていろいろな新しいことを学べる点が魅力です」

ファイク・モハメドさん(スリランカ)



「7回目の参加です。仕事で中断していた武道を再開したいと思い参加しました。合気道を約30年続けていて今は四段です。先生に稽古でアドバイスをもらったのでよかったです。体験武道の少林寺拳法で合気道と似た関節技をやって、関係が感じられて楽しかったです」

【特別講師】
竹内整一(鎌倉女子大学教授)
岡崎廣志(全日本弓道連盟参与)
平井正人(天然理心流剣術第十代宗家)

【主任講師・講師】

柔道 小俣幸嗣八段、石井兼輔七段、越野忠則七段、大島修次七段
剣道 網代忠宏範士八段、井島章教士八段、丸橋利夫教士八段、岩切公治教士八段
弓道 久保田清範士八段、土佐正明教士八段

相撲 伊東良五段、菊池大史芽三段、渡邊晋太郎二段

空手道 岡林俊雄範士八段、渡邊純一錬士七段

合気道 金澤威七段、森智洋六段
少林寺拳法 合田雅彦正範士七段、村瀬晃啓准範士六段

なぎなた 小野恭子範士、梅原敬子錬士

銃剣道 佐藤亨範士八段、小川功範士八段

【講師助手(天然理心流剣術)】

平本輝彦、小林恵子、須田英宏

時田由記、常田貞行

【参加者発表司会者】

田中守(国際武道大学教授)

【通訳者】

アレキサンダー・ベネット(ニュージーランド・関西大学教授)
ショーン・オコネル(ニュージーランド・南山大学教授)
ブルース・フラナガン(オーストラリア・開智国際大学専任講師)
ソリドーワル・マーマヤ(ドイツ・津田塾大学専任講師)

(敬称略)



好評発売中

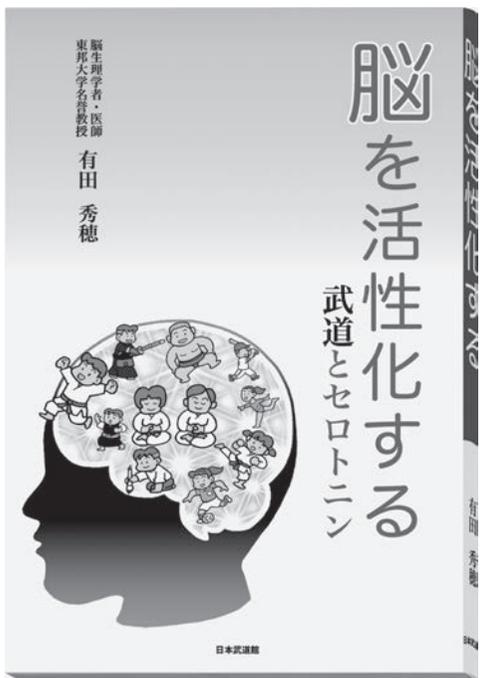
脳生理学者・医師
東邦大学名誉教授

有田 秀穂 著

脳を活性化する

武道とセロトニン

人間の心身を安定させ、「無心」の状態を作るセロトニン神経―その研究の第一人者が、丹田呼吸法を手懸かりに、武道や禅、日本文化を題材として、誰もが
できる脳を活性化する方法をわかりやすく解説。



A5判・並製・346頁・1600円+税



有田 秀穂
(ありた・ひでほ)

昭和23年(1948)東京都生まれ。東京大学医学部卒業。東海大学医学部助手、筑波大学基礎医学系講師、東邦大学医学部教授を経て、現在、東邦大学名誉教授。脳生理学者、医師。セロトニン道場代表。

主な内容

第1部 脳の活性化とは

坐禅とセロトニン

ストレッチとしごき

空海はセロトニン活性の達人

『弓と禅』に学ぶ身体トレーニング

沢庵の「不動智」とワーキングメモリー

不動明王と心の三原色

『弓と禅』に学ぶ無意識の自己意識

悪夢を消すには？

精進料理とセロトニン合成

「茶の湯」とセロトニンの生活

「自然に体が動いた」を脳科学で解く

勝海舟の「明鏡止水の心」を脳科学する

「武道の礼法」は社会脳を育む

相撲の「四股」は品性を育む

書道も心技体の人間修行

アンドロゲンと闘争心

日本の祭にはセロトニンがたっぷり

スキンシップとオキシトシン

空手の稽古は坐禅修行に通じる

脳は「丹田呼吸法」をどう操るか

試合における最適な覚醒状態

サイエンスは「気」をどこまで解明したか

仙人術を脳科学する

第2部 対談「武道で脳を活性化しよう」

日本武道館会長 松永 光

東邦大学名誉教授 有田 秀穂

： 他

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

一千数百年の歴史を有する
武道の全容をこの一冊に集大成!!
武道小百科事典としても役立つ
充実した巻末の資料編!!

柔道 剣道 弓道 相撲 空手道 合気道
少林寺拳法 なぎなた 銃剣道をはじめ、
各武道統括団体の全面協力によって完成!!



日本の武道

日本武道館 編

好評発売中!
日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)

目次

序章

刊行の辞：塩川正十郎 日本武道館・日本武道協議会会長
刊行にあたって：松永 光 日本武道館理事長
武道のすずめ：養老孟司 東京大学名誉教授
武道憲章（「武道憲章」(武道憲章英訳文)「ごも武道憲章」
カラー口絵(日本武道館・9武道+日武協30年のあゆみ)

第1章 日本の武道

第1節 日本の武道…………… 杉江正敏 大阪大学教授
第2節 武士道から武道へ…………… 菅野覚明 東京大学大学院教授
第3節 武道の近代化…………… 嘉納治五郎師範の教え：
村田直樹 講道館図書資料部長
大保木輝雄 埼玉大学教授

第4節 武道の魅力……………
第5節 学校武道の歴史…………… 本村清人 東京女子体育大学教授
第6節 武道の教育力…………… 菅野 純 早稲田大学教授
第7節 日本武道館…………… (財)日本武道館

第2章 日本の古武道

第1節 日本の古武道…………… 横瀬知行 古流武術研究者
第2節 古武道の技と心……………

第3章 現代の武道

第1節 柔道…………… (財)全日本柔道連盟
第2節 剣道…………… (財)全日本剣道連盟
第3節 弓道…………… (財)全日本弓道連盟
第4節 相撲…………… (財)日本相撲連盟
第5節 空手道…………… (財)全日本空手道連盟
第6節 合気道…………… (財)合気道連盟
第7節 少林寺拳法…………… (財)少林寺拳法連盟
第8節 なぎなた…………… (財)全日本なぎなた連盟
第9節 銃剣道…………… (社)全日本銃剣道連盟

第4章 組織・研究機関

第1節 日本武道協議会……………
第2節 全国都道府県立武道館協議会……………
第3節 日本武道学会……………
第4節 日本古武道協会……………
第5節 武道学科等設置大学 ① 国際武道大学 ② 国士館大学
③ 東海大学 ④ 日本体育大学 ⑤ 鹿屋体育大学 ⑥ 中京大学
⑦ 天理大学 ⑧ 筑波大学

第5章 資料編

第1節 役員名簿・組織図……………
第2節 日本武道協議会武道功労者一覧……………
第3節 全日本選手権大会優勝者一覧……………
第4節 年表「武道・近代百四十年の歩み」中村民雄 福島大学教授
第5節 学校体育における武道の姿遷 本村清人 東京女子体育大学教授
第6節 武道主要参考図書……………

(現職・法人名は刊行時)

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

第40回全国高等学校柔道選手権大会

●男子 団体戦 国士舘（東京）、夙川学院（兵庫）が頂点に立つ

●男子

●女子



男子団体決勝＝斉藤立（国士舘・大将）が植岡虎太郎（天理・大将）を内股で降す

第40回全国高等学校柔道選手権大会は3月20日（個人戦）・21日（団体戦）に日本武道館で開催された。

男子団体戦決勝では、国士舘（東京）が天理（奈良）を逆転の末に降し、3年ぶり9回目の頂点に立った。女子団体戦決勝では、夙川学院（兵庫）が帝京（東京）との接戦を制し2連覇の栄冠に輝いた。

男子個人戦無差別では、天理（奈良）の中野寛太が優勝。女子個人戦48kg級では比叡山（滋賀）の芳田真が優勝した。

団体戦(21日)

男子

52チームによるトーナメント方式、試合時間は3分（決勝は4分）、各チーム5名の体重無差別による勝ち抜き試合により、競われた。

決勝は、3年ぶりの優勝を狙う国士舘（東京）と、4回戦で昨年優勝の桐蔭学園を破り、第6回大会以来の悲願の優勝を狙う天理（奈良）との対決となった。

先鋒戦、国士舘・藤永と天理・井上の対戦では、終了間際、藤永が井上から送足払で技有を奪って勝利。

続く、天理・水上との戦いは、水上が藤永から内股透の技有を奪って、勝負は振り出しに戻った。

国士舘・安藤対天理・水上戦は、安藤が小外掛を放って一本勝ちし、再び国士舘がリードする。

次いで国士舘・安藤の相手は天理・池田。安藤は左内股を繰り出しこれが技有となる。安藤は2人抜きを果たしてさらにリードを広げる。

前日に個人戦（無差別級）を制した天理・中野がここで登場。昨年の高校総体100kg超級チャンピオンでも



男子団体決勝（国士館・安藤と天理・水上の試合）＝安藤稀梧（左）が小外掛で一本



男子団体決勝（国士館・藤永と天理・井上の試合）＝藤永龍太郎（手前）が送足払で技有



男子団体決勝（国士館・斉藤対天理・中野）＝斉藤立（下）が体落で一本勝



男子団体決勝（天理・中野と国士館・安藤の試合）＝中野寛太（上）の大腰が決まる

ある中野が反撃を開始する。試合開始わずか34秒、安藤を大腰で破って勝利。
 続く国士館・道下戦で、中野は電光石火の支釣込足を決めて一本勝。
 さらに、国士館・酒井と対戦。中野は、中盤に小外掛を仕掛けて一本

勝。3人抜きを達成して形勢逆転となり、会場を大いに沸かせる。
 ここで84年ロサンゼルス五輪と88年ソウル五輪金メダリストの故・斉藤仁氏の息子で、1年生ながら大将を務める国士館・斉藤立が登場。華麗な3人抜きを見せた中野に対して

堂々と渡り合う。斉藤は中野の奥襟をしつかり掴んで、大内刈と大外刈で揺さぶりをかける。斉藤の圧力で押された中野に指導1が与えられる。開始1分14秒、斉藤は中野に組み勝つと、父直伝の体落を放ち、中野の背を地に着けて一本勝。勝負の行方は大将同士の対決へ。

優勝がかかる注目の一戦、天理・植岡は、勢いに乗る斉藤に果敢に挑むが、開始わずか43秒、斉藤は植岡に豪快な内股を決めて畳に沈め、勝負あり。斉藤の値千金の活躍に会場が大きくどよめいた。

国士館は最後までもつれた天理との激闘を制し、3年ぶり9回目の優勝を飾った。

国士館（東京）1人残し 天理（奈良）

- | | | |
|-------|------|-------|
| 藤永龍太郎 | 技有 | 井上直弥 |
| 藤永龍太郎 | 技有 | 水上世嵐 |
| 安藤稀梧 | 小外掛 | 水上世嵐 |
| 安藤稀梧 | 技有 | 池田凱翔 |
| 安藤稀梧 | 大腰 | 中野寛太 |
| 道下新大 | 支釣込足 | 中野寛太 |
| 酒井陸 | 小外掛 | 中野寛太 |
| 斉藤立 | 体落 | 中野寛太 |
| 斉藤立 | 内股 | 植岡虎太郎 |

◎優勝Ⅱ国士館・岩淵公一監督

「今大会では、気持ちいいかに出して波に乗れるかが大事でした。斉藤の体落が決まり、見事優勝を呼び込んでくれました。また、ここぞという時に間髪入れずに内股を決められたのは良かったです。つま先組手、技出しの順番を大事にするように言い続けて、その成果が決勝で現れたのだと思います。

課題は寝技をしつこく狙う選手がいなかったことです。まだまだ国士館らしくないです。

本大会では、天理がしぶとかったですね。また、東海大相模と桐蔭学園には怪我がいましたので、高校総体では状況が変わるでしょう」

◎優勝Ⅰ国士館・斉藤立選手

「やった！ という気持ちです。苦労をかけたお母さんには感謝してもしきれません。また、応援してくれた皆と毎日何百本と受けてくれた同級生に感謝しています。今年は絶対誰にも負けずに団体戦も個人戦も優勝したいです。東京オリンピックにも出て優勝して恩返しをしたいです。将来は日本を背負って闘ったお父さんみたいな選手になりたいです」

女子

48チームによるトーナメント方式、試合時間は3分（決勝は4分）、各チーム3名の体重別（先鋒52kg以下、中堅63kg以下、大将無差別）による点取り試合により、競われた。

決勝は、2連覇を狙う夙川学院（兵庫）と初優勝を掴みたい帝京（東京）

との対戦となった。

先鋒戦は、前日の個人戦48kg級で準優勝の夙川・村川と、個人戦52kg級優勝の帝京・大森との対決。試合は大森が優位な状態で試合運び、村川が組まないとして指導1、その後もクロスグリップで指導2が与えられる。そのまま時間終了となり、

大森が僅差で勝利した。

中堅戦、夙川・金と帝京・三谷の対戦は、前半、三谷が消極的姿勢で指導を2つ重ねる。金は寝技を積極的に狙っていく。試合は徐々に金のペースとなり、金は44秒に大内刈を仕掛けて技有。さらに2分8秒に一本背投で技有を奪って試合終了。金は内容差で逆転を果たした。

大将戦は、夙川・吉峰対帝京・高橋。吉峰は先に仕掛けて、個人戦無差別覇者の高橋を封じる。しかし、追い込まれた高橋は負けじと積極的に支釣込足で攻める。終盤、組まないとして吉峰に指導が与えられて、そのまま試合は終了。

夙川学院が、勝数同等で、内容差により2連覇を達成した。

夙川学院(兵庫) ①ー1 帝京(東京)

村川実葉瑠 僅差 大森 生純

金 知秀 技有 三谷 桜

吉峰 芙母絵 引分 高橋 瑠璃

◎優勝Ⅱ夙川学院・松本純一 郎監督

「阿部（詩）を起用していないので、非常に苦しかったと思うのですが、彼女たちが結果を出さなければと必

死に闘いました。その中で優勝を掴み取ったことは素晴らしいと思います。今まで阿部と金がいるからと、どこかで驕りと油断が大きかったんじゃないかと思っています」

◎優勝Ⅱ夙川学院・金知秀選手

「阿部が出なかったから負けたとは言わせたくなかったです。2連覇でさるのは夙川しかないと思んなの気合いがすごく入っていて、それが結果につながったのだと思います。帝京は先鋒と大将に優勝者がいたので、自分が取らないとこの試合は不利だと思いました。団体で高校総体優勝、個人は（韓国代表として）9月の世界選手権を頑張りたいです」

個人戦(20日)

男女とも、体重別4階級と無差別の5部門、トーナメント方式により、試合時間は3分間、時間内に勝負が決しない場合は時間無制限のGS（ゴールデンスコア）により、競われた。

男子

▽60kg級

決勝は、近藤隼斗（佐賀・佐賀工業）



女子団体決勝・中堅戦＝金知秀（夙川学院・上）が大内刈で技有を奪う



男子 73kg級決勝＝中村洸登（左）の裏投



男子 60kg級決勝＝近藤隼斗（左）が攻める



男子 81kg級決勝＝竹市大祐（右）の小外掛



男子 66kg級決勝＝西願寺哲平（左）の腕挫十字固



男子無差別決勝＝中野寛太（上）の大内返

と松田淳希（和歌山・初芝橋本）の対戦となった。松田が指導1で、GSに突入。近藤は攻めの手を緩めず、消極的とみなされた松田が反則負けとなり、近藤が優勝した。

▽66kg級
決勝に残ったのは、昨年覇者の西願寺哲平（埼玉・埼玉栄）と松村士（東京・足立学園）。西願寺は、開始2分45秒で松村に腕挫十字固を決め、一本勝で連覇を果たした。

◎西願寺哲平選手（埼玉・埼玉栄）
「去年と同じようにはいかないとは

思っていました。厳しい戦いでした」

▽73kg級

中村洸登（奈良・天理）と内村秀資（大阪・東海大学付属仰星）の決勝。終盤、中村が裏投で技有をとり、勝負あり。中村が優勝を果たした。

▽81kg級

決勝は、竹市大祐（福岡・大牟田）と板東虎之輔（千葉・木更津総合）の顔合せ。互いに技によるポイントがなくGSに移る。攻勢に出たのは竹市。3分が経過、小外掛で一本をとり、勝利を収めた。

▽無差別

決勝は、昨年高校総体100kg超級チャンピオンの中野寛太（奈良・天理）と昨年のカデ、高校総体90kg級チャンピオンの村尾三四郎（神奈川・桐蔭学園）の対戦。体重差は40kg。互いに技が決まらず、試合はGSに突入。中野が鮮やかな大内返で村尾を畳に沈めて一本勝ち、優勝を決めた。

◎優勝Ⅱ中野寛太選手（奈良・天理）

「嬉しいのですが明日の団体があるので気は抜けないです。（決勝の大内返は）練習はしていましたが、たまたま出たという感じです。団体日本一も目指して頑張ります」

女子

▽48kg級

昨年3位の芳田真(滋賀・比叡山)と村川実葉瑠(兵庫・夙川学院)の



女子48kg級決勝＝芳田真(右)の大外刈

決勝戦。互いに決め手を欠き、そのままGSに突入。その34秒後、芳田が一瞬の隙を突き、村川から豪快な大外刈で一本。初優勝した。



女子57kg級決勝＝金知秀(左)対古賀ひより



女子63kg級決勝＝浦明澄(右)の体落



女子52kg級決勝＝大森生純(上)が袈裟固で勝利



女子無差別決勝＝高橋瑠璃(上)の横四方固

◎優勝Ⅱ芳田真選手(滋賀・比叡山)「準決勝の前に、応援に来てくれた姉(芳田司選手)がアドバイスをくれました。その姉に少しでも近づけたかなと思います」
▽52kg級 大森生純(東京・帝京)と對馬みなみ(宮城・東北)との対戦。開始1分、一本背負を仕掛ける對馬が体勢を崩した瞬間、大森がすぐさま袈裟固に入り、一本勝となった。
▽57kg級 決勝は、韓国代表の金知秀(兵庫・夙川学院)と古賀ひより(岡山・創志学園)との対決となった。中盤、両者に積極的戦意が欠けるとして指導1が与えられる。GSにもつれる

と、金は釣手を使い、古賀の頭を下げ、試合を有利に進めていく。金が最後まで攻め続けると、防戦一方の古賀は指導を重ねて反則負となり、金が優勝した。
▽63kg級 昨年準優勝の浦明澄(岡山・創志学園)と昨年優勝の結城彩乃(山梨・富士学苑)の決勝となった。序盤、浦は結城から体落で技有を奪う。そのまま時間となり試合は終了。浦が昨年のリベンジを果たして悲願の優勝を飾った。
▽無差別 高橋瑠璃(東京・帝京)と、決勝まで全て一本勝してきた米川明穂(静岡・藤枝順心)の決勝戦となった。試合は残り1分、米川が大内刈を仕掛けるも体勢を崩し、高橋がかさず横四方固に入る。高橋が横四方固の一本勝で、女子無差別を制した。



大会結果

■男子団体Ⅱ国士舘（東京）、②天理（奈良）、③東海大相模（神奈川）、桐蔭学園（神奈川）

■女子団体Ⅱ①夙川学院（兵庫）、②帝京（東京）、③大成（愛知）、創志学園（岡山）

男子個人

▽60 kg級Ⅱ①近藤隼斗（佐賀・佐賀工）、②松田淳希（和歌山・初芝橋本）、③福田大晟（滋賀・比叡山）、鷺見仁義（北海道・札幌山の手）

▽66 kg級Ⅱ①西願寺哲平（埼玉・埼玉栄）、②松村士（東京・足立学園）、③唯野己哲（千葉・木更津総合）、若狭智也（石川・鶴来）

▽73 kg級Ⅱ①中村洗登（奈良・天理）、②内村秀資（大阪・東海大学付属仰星）、③飯田竜生（福岡・南筑）、齋五澤航介（栃木・白鷗大学足利）

▽81 kg級Ⅱ①竹市大祐（福岡・大牟田）、②板東虎之輔（千葉・木更津総合）、③日野山剛（滋賀・比叡山）、赤星遼太郎（熊本・九州学院）

▽無差別Ⅱ①中野寛太（奈良・天

理）、②村尾三四郎（神奈川・桐蔭学園）、③酒井陸（東京・国士舘）、大石由（愛知・桜丘）

女子個人

▽48 kg級Ⅱ①芳田真（滋賀・比叡山）、②村川実葉瑠（兵庫・夙川学院）、③渡邊愛子（神奈川・横須賀学院）、久保井仁菜（京都・京都文教）

▽52 kg級Ⅱ①大森生純（東京・帝京）、②對馬みなみ（宮城・東北）、③畠山瑠唯（埼玉・埼玉栄）、藤城心（山梨・富士学苑）

▽57 kg級Ⅱ①金知秀（兵庫・夙川学院）、②古賀ひより（岡山・創志学園）、③袴田佳名瑚（静岡・藤枝順心）、堂崎月華（三重・名張）

▽63 kg級Ⅱ①浦明澄（岡山・創志学園）、②結城彩乃（山梨・富士学苑）、③立川桃（愛媛・新田）、山口葵良梨（福岡・大牟田）

▽無差別Ⅱ①高橋瑠璃（東京・帝京）、②米川明穂（静岡・藤枝順心）、③朝飛真実（神奈川・桐蔭学園）、吉峰芙母絵（兵庫・夙川学院）

▽無差別Ⅱ①中野寛太（奈良・天

マンガ・武道の偉人たち

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

B5判・302頁・本体 1,000円＋税

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯をマンガで学べる。
収録偉人一覧：嘉納治五郎（柔道）、高野佐三郎（剣道）、阿波研造（弓道）、双葉山（相撲）、船越義珍（空手道）、植芝盛平（合気道）、宗道臣（少林寺拳法）、園部秀雄と三田村千代（なぎなた）、鶴沢尚信（銃剣道）



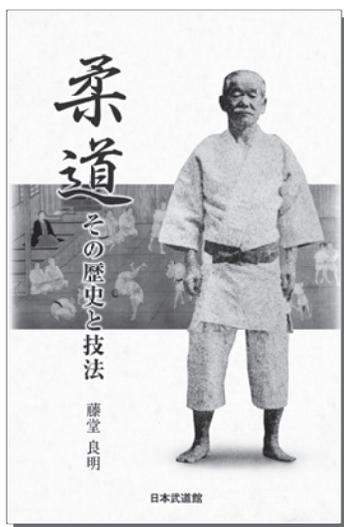
ご注文・お問い合わせ 日本武道館 月刊「武道」編集部 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL. 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158 <http://www.nipponbudokan.or.jp> インターネットでのご注文は、「武道館単行本」と検索!

好評発売中!

柔道 その歴史と技法

筑波大学体育系教授 **藤堂 良明** 著

「原点に帰る」には、「原点を知る」必要がある。



四六判・上製・330頁・本体2,400円+税

柔道の歴史を振り返りつつ、その技法が、どのように形作られてきたのかを、丁寧に解説しています。



武道の稽古は、技を通して精神を磨き、やがて社会のためになるという教育の道でもあった。時代は移り変われども、日本の伝統に培われた*武道としての柔道、を見失わないでいただきたいと願うものである。(本書「あとがき」より抜粋)

目次

<p>第一章 組討ちの起こりと技法 体術の起こりと技法 組討ちの体系化と技法</p> <p>第二章 柔術諸流派の歴史と技法 竹内流腰廻 関口新心流柔術 起倒流柔術 起倒流柔道 直信流柔道 真之神道流柔術 天神真楊流柔術</p>	<p>第三章 講道館柔道の歴史と技法 講道館柔道の創設と技法 嘉納治五郎の乱取開発 講道館柔道の行事と整備 警視庁武術大会の勝利と技法 学校体操への柔道導入の試み 学校における柔道普及の実態 高専柔道の起こりと技法 嘉納治五郎の他武道への接近 精力善用国民体育の創案と技法 全日本柔道選士権大会の開催と技法</p>	<p>第四章 第二次世界大戦後の柔道復活と技法 第二次大戦中の柔道界と技法 第二次大戦後の柔道禁止と復活 格技柔道から武道柔道へ 女子柔道の競技化と技法</p> <p>第五章 柔道技法の変遷と国際化への課題 柔道技法の変遷と特徴 柔道の国際的普及と発展 段位制度の国際比較 柔道の国際化と課題</p>
--	--	--

編集・発行 **日本武道館**

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)



役に立つ 少年柔道指導法

講道館道場指導部課長

向井 幹博 著

(A5判・並製・DVD付・414頁)



女子柔道の 歴史と課題

筑波大学体育系准教授

山口 香 著

(四六判・上製・412頁)



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)

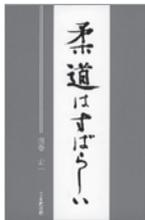


武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)



柔道は すばらしい

柔道塾紀柔館館長

腹巻 宏一 著

(四六判・上製・310頁)



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)

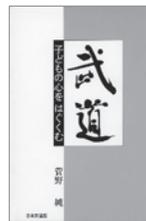


大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)



武道 子どもの心を育む

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



柔道の国際化 —その歴史と課題—

講道館図書資料部長

村田 直樹 著

(四六判・上製・552頁)



嘉納治五郎師範に学ぶ

講道館図書資料部長

村田 直樹 著

(四六判・上製・292頁)

日本武道館研修センター

宿泊者数100万人を達成

3月28日、日本武道館研修センター（千葉県勝浦市）の宿泊者数が開館以来100万人を達成しました。

ちょうど100万人目の宿泊者となった開成学園中学校・高等学校剣道部



には、お祝いの記念品が贈呈されました。

研修センターの開館は、昭和44（1969）年7月、山口吉暉千葉県勝浦市長より「日本武道館勝浦分館誘致に関する陳情書」が正力松太郎日本武道館初代会長に発せられたことに始まります。公益財団法人日本武道館は、その定款に地方武道館の設置運営を謳（うた）っており、県や関係者の協力のもと、昭和46年8月、財団直営の地方武道館第一号として勝浦市に誕生しました。

研修センターでは「青少年への武道の普及・奨励、質実剛健の気風養成」など財団創建の精神に基づき、鏡開き青少年武道大会、千葉県高等学校剣道・柔道（宿泊）錬成大会、書道教室を含む武道学園の運営等、幅広く武道振興普及事業を実施してきました。昭和59年4月勝浦市に開学された国際武道大学誕生のきっかけ

日本武道館研修センター 宿泊人数・累計表

年度	人数	累計	年度	人数	累計
昭和46年度	5,319	5,319	平成7年度	20,407	568,514
47	12,118	17,437	8	23,014	591,528
48	16,816	34,253	9	22,097	613,625
49	19,987	54,240	10	19,868	633,493
50	24,688	78,928	11	19,316	652,809
51	23,414	102,342	12	19,105	671,914
52	25,592	127,934	13	19,755	691,669
53	25,831	153,765	14	20,007	711,676
54	25,614	179,379	15	19,360	731,036
55	25,388	204,767	16	18,772	749,808
56	24,463	229,230	17	19,906	769,714
57	24,900	254,130	18	19,047	788,761
58	26,719	280,849	19	18,653	807,414
59	25,678	306,527	20	18,055	825,469
60	25,119	331,646	21	19,038	844,507
61	21,139	352,785	22	18,207	862,714
62	24,176	376,961	23	18,486	881,200
63	25,810	402,771	24	18,409	899,609
平成元年度	25,215	427,986	25	18,958	918,567
2	23,559	451,545	26	19,147	937,714
3	27,016	478,561	27	20,147	957,861
4	22,758	501,319	28	21,403	979,264
5	21,882	523,201	29	20,906	1,000,170
6	24,906	548,107			

けともなった施設です。また、宿泊研修の総合道場として、各武道団体の講習会や大学、高校の武道合宿等に広く利用されています。千畳敷の大道場、九人立ちの弓道場、相撲道場、研修室、会議室を擁し、年間を通して多くの武道人に利用されています。これからも武道振興事業推進はもろろんのこと、来館される皆様の合宿・研修が爽り多いものとなるよう、安心・快適な施設の提供に努める所存です。

◎お祝いのごとば!!

開成学園剣道部顧問 小竹 禎

「宿泊研修100万人達成、誠にありがとうございます。開成学園剣道部は、センター創設以来、東日本大震災の年を除いて毎年合宿でお世話になっています。千畳敷の大道場、バイキング形式の美味しい食事、東京からのアクセスの良さなど、こちら以上の施設はありません。これからも末永くよろしく願います。」

日本武道館研修センター

耐震補強工事平成13年実施

当センターは公益財団法人日本武道館の運営ですので、安価な料金で、しかも良質なサービスをご提供いたしております。

武道を愛する人たちの錬成施設をはじめ、広く一般の皆様にもご利用いただける施設です。柔・剣道などの武道大会や合宿はもちろん、文化系サークル合宿、社員研修や講習会、中学・高校の課外活動、各種セミナーや会議・会合、グループや家族旅行などのご宿泊にも最適です。

また、ご予算に応じて、特別料理(舟盛り・寿司盛り)も承っております。

皆様のご利用を心よりお待ちしております。



弓道場(9人立ち、巻き藁室、男女更衣室、男女トイレ完備、夜間練習も可能)



柔道・剣道などの武道合宿に最適な環境と設備を整えています。



大道場…1000畳の広さ(分割使用可)



第1研修室…武道の稽古にも使用可



相撲道場…シャワートイレ完備



宿泊室A(和室・定員5人)10部屋



宿泊室B(洋室・定員7人)36部屋



ロビー



食堂…食事はバイキングで食べ放題!(夕食料で屋外バーベキューに変更可)



●武道を目的とした利用(税別1泊2食付き)

区分	宿泊室A	宿泊室B
高校生以上	5,900円	5,400円
小・中学生	5,600円	5,200円

●武道以外の利用(税別1泊2食付き)

区分	宿泊室A	宿泊室B
高校生以上	6,200円	5,800円
小・中学生	5,700円	5,500円

宿料金

・幼児の室料は無料です。・昼食料金…900円
 ・上記料金は消費税別。・食事はバイキング形式。
 ・宿泊利用での施設使用料は無料です。ただし、宿泊を伴わない場合は、別途使用料金を頂きます。

・武道の合宿をはじめ、文化系(書道等)、スポーツ(テニス等)の合宿、研修講習会、その他会議、パーティー(式典等)、サークル、個人の方などに幅広くご利用いただいております。
 ・テニスコート(隣接)は、斡旋いたします。ただし、事前予約が必要です。



●お問い合わせ・ご予約・お申し込み先は…

日本武道館研修センターまで
 〒299-5231 千葉県勝浦市沢倉582
 TEL 0470-73-2111 FAX 0470-73-2819
<http://www.nipponbudokan.or.jp>

日本武道館研修センター



日本武道館の単行本

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

マンガ・武道のすすめ

(B5判・236頁)

マンガ・武道のすすめ

田代しんたろう



日本武道館

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。

大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

《目次》

序章 武道のすすめ

松永光(日本武道館)／高村正彦(武道議員連盟)／有松育子(文部科学省)

第1章 いざ! 武道の世界へ

第2章 柔道のすすめ

大澤慶己／長谷川博之／腹巻宏一／吉村和郎／山内直人

第3章 剣道のすすめ

森島健男／角正武／千田重光／井上茂明／小林知洋

第4章 弓道のすすめ

森永良雄／吉本清信／宇佐美義光／柴田猛／大和田正孝

第5章 相撲のすすめ

塔尾武夫／住吉和則／下村勝彦／安井和男

第6章 空手道のすすめ

金城裕／長谷川伸一／安里廣之／山本英雄／大石武士

第7章 合気道のすすめ

多田宏／磯山博／菅沼守人／珠玖仁

第8章 少林寺拳法のすすめ

合田清一／阿達美恵子／八巻哲／松浦哲也

第9章 なぎなたのすすめ

澤田花江／梶山武子／一川治子／左村美穂子／大津博美

第10章 銃剣道のすすめ

桑原正治／兼坂弘道／遠藤守／石川慎也／北村弘之

第11章 古武道のすすめ

竹内藤十郎(柔術)／笹森建美(剣術)／加藤伊三男(槍術)／小笠原清忠(弓馬術)

日本武道館の歴史

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本 (本をクリックすると、詳細が表示されます)



今、なぜ武道か
 一文化と伝統を問う一
 福島大学教授
中村 民雄 著
 (四六判・上製・370頁)



BUDŌ:
THE MARTIAL WAYS OF JAPAN
 日本武道館 編
 翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット
 (B5判・上製・DVD付・336頁)

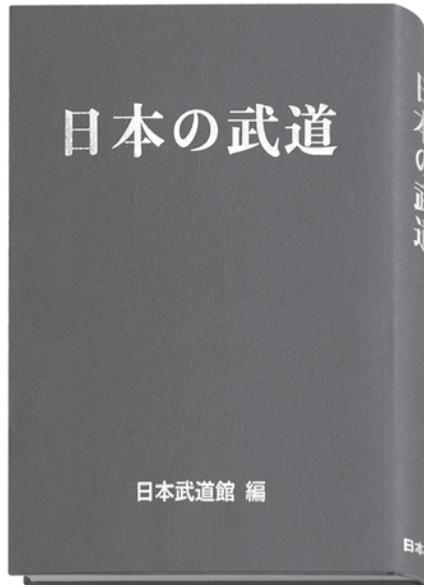


武道
子どもの心をはぐくむ
 早稲田大学教授・教育カウンセラー
菅野 純 著
 (四六判・上製・410頁)



大先輩に聞く
 月刊「武道」記者
田谷 将俊 著
 (四六判・上製・376頁)

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・
 少林寺拳法などさまざまな銃剣道をはじめ、
 各武道統括団体の全面協力によって完成!!
 一千数百年の歴史を有する
 武道の全容をこの一冊に集大成!!
 武道小百科事典としても役立つ
 充実した巻末の資料編!!



(B5判・上製・箱入・526頁)

日本の武道

日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書



日本武道館 編



月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。